

完了後の評価個表

整理番号	1-1
------	-----

事業名	緑資源幹線林道事業 (大規模林業圏開発林道事業)	都道府県	岩手県																														
路線名	はちのへ かわうち 八戸・川内線	事業実施主体	旧(独)緑資源機構																														
関係市町村	かるまい ひろの くずまき 軽米町、洋野町、久慈市、葛巻町、 岩泉町、宮古市	管理主体	かるまい くずまき 軽米町、久慈市、葛巻町、岩泉町、 宮古市																														
事業実施期間	S48 ~ H17 (33年間)	完了後経過年数	6年																														
事業の概要・目的	<p>① 位置等 本路線の工事実施区域は岩手県九戸郡^{かるまい}軽米町を起点とし、同県久慈市、^{くずまき}葛巻町、岩泉町を經由して宮古市を終点としている。公道を含めた総延長は154.1kmである。</p> <p>② 森林の状況 利用区域の森林面積は11,996haであり、人工林と天然林の割合は4対6である。人工林の植栽樹種のほとんどが、アカマツ、カラマツ、スギとなっており、それらの年齢構成は、間伐等の造林作業を必要とする10年齢級(50年生)以下が約9割を占めている。</p> <p>③ 本路線を整備する目的・意義 緑資源幹線林道事業は、豊富な森林資源に恵まれた地域で、基幹的な林道を整備し、林業を中心とした地域振興を図ることを目的とするものであり、本路線は総延長154.1kmの47%に当たる72kmに4区間を設け、林道の開設及び改良工事を実施した。 なお、緑資源幹線林道事業は平成19年度をもって廃止した。</p> <p>(事業概要) 延長72km、幅員7.0m(開設58%、改良42%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区間名</th> <th>延長</th> <th>事業費</th> <th>事業期間</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① ^{ほそやち ひのさわ}細谷地・日野沢(I)</td> <td>10.6km</td> <td>1,999百万円</td> <td>S48~S63</td> <td>^{かるまい}軽米町(起点)</td> </tr> <tr> <td>② 細谷地・日野沢(II)</td> <td>12.2km</td> <td>2,886百万円</td> <td>S57~H5</td> <td>久慈市他</td> </tr> <tr> <td>③ ^{こうげろう おおさかもと}高家領・大坂本</td> <td>16.8km</td> <td>3,986百万円</td> <td>S52~H12</td> <td>^{くずまき}葛巻町他</td> </tr> <tr> <td>④ ^{あなざわ かみそとやま}穴沢・上外山</td> <td>32.4km</td> <td>14,563百万円</td> <td>S48~H17</td> <td>宮古市他(終点)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>72.0km</td> <td>23,435百万円</td> <td colspan="2">(※四捨五入により区間計と異なる)</td> </tr> </tbody> </table>			区間名	延長	事業費	事業期間	所在地	① ^{ほそやち ひのさわ} 細谷地・日野沢(I)	10.6km	1,999百万円	S48~S63	^{かるまい} 軽米町(起点)	② 細谷地・日野沢(II)	12.2km	2,886百万円	S57~H5	久慈市他	③ ^{こうげろう おおさかもと} 高家領・大坂本	16.8km	3,986百万円	S52~H12	^{くずまき} 葛巻町他	④ ^{あなざわ かみそとやま} 穴沢・上外山	32.4km	14,563百万円	S48~H17	宮古市他(終点)	合計	72.0km	23,435百万円	(※四捨五入により区間計と異なる)	
区間名	延長	事業費	事業期間	所在地																													
① ^{ほそやち ひのさわ} 細谷地・日野沢(I)	10.6km	1,999百万円	S48~S63	^{かるまい} 軽米町(起点)																													
② 細谷地・日野沢(II)	12.2km	2,886百万円	S57~H5	久慈市他																													
③ ^{こうげろう おおさかもと} 高家領・大坂本	16.8km	3,986百万円	S52~H12	^{くずまき} 葛巻町他																													
④ ^{あなざわ かみそとやま} 穴沢・上外山	32.4km	14,563百万円	S48~H17	宮古市他(終点)																													
合計	72.0km	23,435百万円	(※四捨五入により区間計と異なる)																														
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>当事業の着工当時には、事前評価制度が導入されておらず、費用対効果分析を行っていない。 なお、平成24年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>85,792百万円</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>63,538百万円</td> </tr> <tr> <td>効果分析(B/C)</td> <td>1.35</td> </tr> </table>			総便益(B)	85,792百万円	総費用(C)	63,538百万円	効果分析(B/C)	1.35																								
総便益(B)	85,792百万円																																
総費用(C)	63,538百万円																																
効果分析(B/C)	1.35																																

<p>② 事業効果の発現状況</p>	<p>下記の地元意見にあるとおり、本路線は林業を始めとした、養鶏、畜産など地域の基幹産業の振興等に大きく寄与している。また、自然災害等により不通となった国道等の迂回路としても多く利用されている。</p> <p>【地元意見】</p> <p>（<small>かるまい</small>軽米町） 本路線沿いにプロイラー関係施設が多数建設され、町の産業の活性化に役立っている。また、小学校校舎の建設用材として町有林の伐採を行った際には、本路線が木材の搬出・運搬に大きく貢献した。</p> <p>（久慈市） 本路線は山村地域に点在する集落間を結ぶことで、山村地域の生活環境の改善に大きく寄与するとともに、耕地が少ない当地域の重要な産業である畜産の振興にも大きく貢献している。</p> <p>（岩泉町） 本路線は近隣の幹線道路が自然災害等の被害を受けた際、迂回路として活用された実績がある。また、隣接する県道等が冬季は通行止めとなることから、これらの迂回路としても多く利用されており、森林整備はもとより、日常的な生活路線としても欠かすことのできない路線となっている。</p> <p>＜災害時迂回路活用実績＞</p> <p>① 平成15年2月、大雪災害等により数ヶ月間不通となった国道340号線及び県道171号線の迂回路として活用。</p> <p>② 平成21年4月、橋面陥没により約3ヶ月間不通となった国道340号線の迂回路として活用。</p> <p>③ 平成24年4月、土砂崩れ災害により1日間不通となった県道171号線の迂回路として活用。</p> <p>（<small>くずまき</small>葛巻町） 本路線は町の基幹産業である酪農と林業の振興に重要な路線となっている。</p> <p>（宮古市） 本路線は、関連する周辺林道の幹線的役割を果たしており、また、肉牛の放牧地とも接していることから畜産の振興にも寄与している。</p>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>移管先である地元市町（<small>かるまい</small>軽米町他4市町）が、それぞれ定めた基準等に基づき適切に管理しており、草刈り、区画線補修、側溝清掃が適宜行われていることから、維持管理状況は良好である。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>本路線の活用により、林業を始めとした、養鶏、畜産など地域の基幹産業が振興した。また、点在する集落が結ばれ山村地域の生活環境が改善された。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>事業着手当時に比べ、木材価格は大きく下落するなど、森林・林業を取り巻く情勢は厳しさを増した。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>本路線は地元で盛んに活用されており、移管先における維持管理状況も良好であることから、今後の課題等は見られない。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 地域の林道網の骨格となる幹線林道として整備されており、林業を始めとした地域の基幹産業の振興、山村地域の生活環境改善等に貢献していることから必要性は高い。 ・ 効率性 本路線の施工に当たっては、コスト削減や工期短縮を推進する効率的な工法を取り入れていることから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 本路線の開設により、林業を始めとした地域の基幹産業の振興等による本路線の必要性が認められること、また、コスト削減や工期短縮を推進する効率的な工法の採用により事業の効率性が認められることから、一定の有効性が認められる。

様式1

便 益 集 計 表

事業名：緑資源幹線林道事業
 施行箇所：軽米町～宮古市

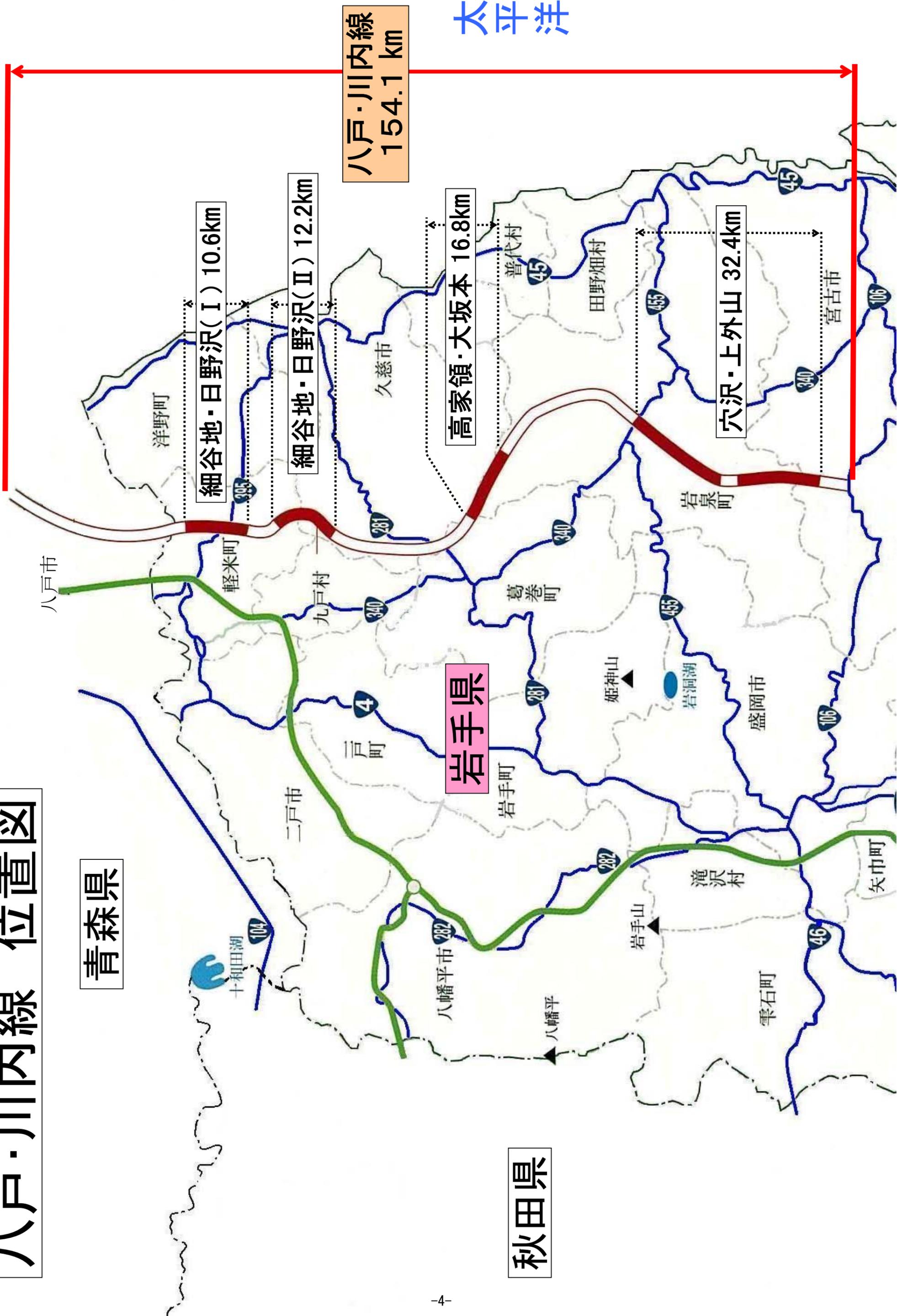
都道府県名：岩手
 (単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,895,610	
	木材利用増進便益	174,532	
	木材生産確保・増進便益	2,944,875	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	409,894	
	森林管理等経費縮減便益	28,543	
	森林整備促進便益	40,830,681	
一般交通便益	走行時間短縮便益	31,563,380	
	走行経費縮減便益	6,638,630	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	345,446	
維持管理費縮減便益		960,590	
総 便 益 (B)		85,792,181	
総 費 用 (C)		63,538,289	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{85,792,181}{63,538,289} = 1.35$		

八戸・川内線 位置図

青森県

秋田県



太平洋